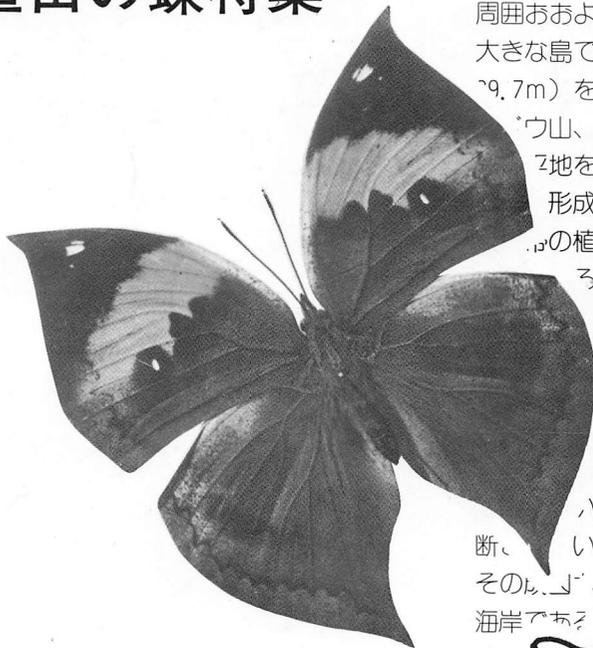


ひろおひび

八重山の蝶特集

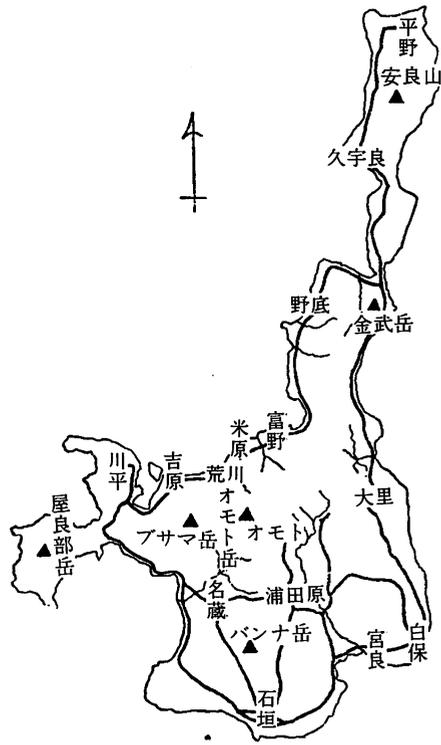


西表島は北緯24°15'から、東経123°40'から55、
 周囲およそ77km、面積322km²の沖縄本島に次ぐ
 大きな島である。それにもかかわらず、古見岳(4
 79.7m)を最高峰に、ハテルマの森(447.0m)、
 山、南風布岳、御座岳と、東岸、西岸の少
 数平地を残して、ほとんどが複雑な起伏に富む
 地形を形成し、山岳が多い。その全体は、熱帯、
 植物におおわれ、昼間もお暗く、うっ
 たるジャングルを成し、村落は大原、富原、
 とする東部海岸と、祖納、浦内
 西部海岸のほんの一部に、大きな
 の村落を結ぶそれぞれ、幹道
 海岸を結ぶ横断道路(極、美しい小
 のみで、この偉大な自、小さく
 り人間の姿がうかが、道路が分
 断、いるのとともに、「」は地質的に
 その「」がっている。
 海岸である、が平坦であるた
 め、る。両者は特
 に植、れている。こ
 のように起伏、まジャングル
 にふさわし、を開いている。
 最大面積を、上の川幅が200
 m以上、達し、流域まで20km以上もあ
 る。こ、ま河口から約14kmの地点に景勝地と
 して名高いマリユド、カンビレーの滝を有し、こ
 の地を訪れる観光客は年々増加の一途をたどつて
 いる。

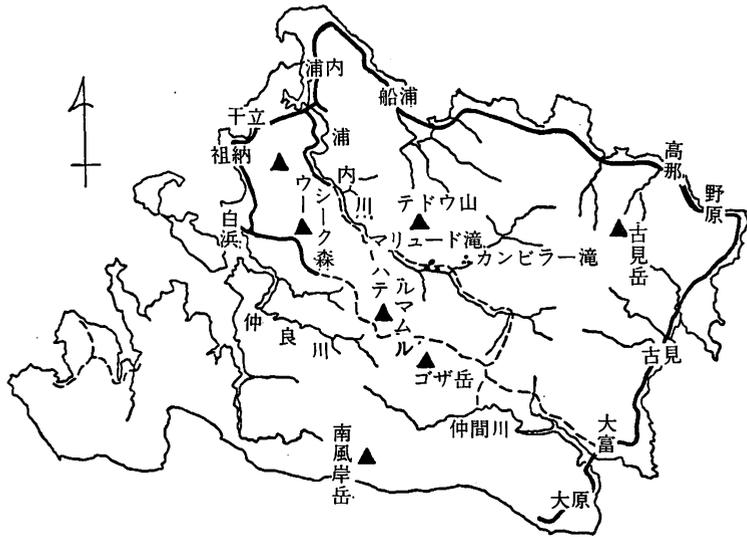
浦内川と並んで大きな川は東部の大富に流れこ
 中間川である。この中間川も、浦内川にはひけ
 をとらない大河川であるが、両者とも河口からの
 観光ボートが運航され、その景勝を楽しませてく
 れる。

1982
 NO. 6

播磨蝶友会



石垣島概念図



西表島概念図